

87	足部	5	4	3	2	1	4	3	2	1
88	オイルマッサージ	5	4	3	2	1	4	3	2	1
89	指圧	5	4	3	2	1	4	3	2	1
90	タッチング	5	4	3	2	1	4	3	2	1
91	陣痛発生時における第4腰椎の下部への圧迫	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	(気分転換)									
92	話をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
93	運動	5	4	3	2	1	4	3	2	1
94	散歩	5	4	3	2	1	4	3	2	1
95	読書	5	4	3	2	1	4	3	2	1
96	ドライブに連れて行く	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	(音楽等)									
97	小さい音で音楽をかける	5	4	3	2	1	4	3	2	1
98	本人の好きなCDをかける	5	4	3	2	1	4	3	2	1
99	本人の好きなラジオをつける	5	4	3	2	1	4	3	2	1
100	本人の好きなテレビをつける	5	4	3	2	1	4	3	2	1
101	イメージトレーニングのテープを流す	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	(体の冷え予防)									
102	腹部温罨法	5	4	3	2	1	4	3	2	1
103	仙骨部温罨法	5	4	3	2	1	4	3	2	1
104	会陰部温罨法	5	4	3	2	1	4	3	2	1
105	足の三陰交温罨法	5	4	3	2	1	4	3	2	1
106	腰温	5	4	3	2	1	4	3	2	1
107	足浴	5	4	3	2	1	4	3	2	1
108	気浴	5	4	3	2	1	4	3	2	1
109	シャワー浴	5	4	3	2	1	4	3	2	1
110	イトオテルミー	5	4	3	2	1	4	3	2	1
111	掛け物の調節をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	(清潔)									
112	発汗したら全身清拭	5	4	3	2	1	4	3	2	1
113	発汗したら更衣	5	4	3	2	1	4	3	2	1
114	濡れタオルで頸部の清拭	5	4	3	2	1	4	3	2	1
115	髪をまとめ直す	5	4	3	2	1	4	3	2	1
116	パットを代える	5	4	3	2	1	4	3	2	1
117	病院寝衣を着せる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	(その他)									
118	吐き気や嘔吐時 手で持ちやすい容器を渡す	5	4	3	2	1	4	3	2	1
119	嘔吐後 口をゆすぐ水分を用意する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
120	1,2,3期に 腹圧を助ける目的で腹帯をしめる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	分娩経過の説明									
121	予ニター所見から児が正常であることを説明する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
122	心音を本人に聞かせる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
123	分娩の予測を伝える	5	4	3	2	1	4	3	2	1
124	分娩経過を伝える	5	4	3	2	1	4	3	2	1
125	初産婦・経産婦との分娩進行の違いを話す	5	4	3	2	1	4	3	2	1
	精神面のケア									
126	不安を与える言動を避ける	5	4	3	2	1	4	3	2	1
127	心配のないことを話す	5	4	3	2	1	4	3	2	1
128	あせらないように話す	5	4	3	2	1	4	3	2	1
129	無理強いない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
130	一人にしない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
131	家族と共に過ごせるように配慮していく	5	4	3	2	1	4	3	2	1
132	陣痛をマイナスイメージで受け取らないように配慮する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
133	痛いと言わず「張る 張ってきた」という	5	4	3	2	1	4	3	2	1
134	落ち着いた態度で接する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
135	受容的な態度で接する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
136	わがらいの声かけ	5	4	3	2	1	4	3	2	1
137	しからない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
138	がんばりをほめる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
139	分娩に強気で取り組むよう話す	5	4	3	2	1	4	3	2	1

分娩第Ⅱ期・Ⅲ期のケア		
140	分娩室への入室時期の判断をする	5 4 3 2 1
141	(姿勢)	
142	半座位にする	5 4 3 2 1
143	側臥位にする	5 4 3 2 1
144	産婦のいきみやすい姿勢にする	5 4 3 2 1
(怒責)		
145	怒責指導をする	5 4 3 2 1
146	分娩の進行を説明しながら怒責法の説明をする	5 4 3 2 1
147	無理に怒責させない	5 4 3 2 1
148	陣痛後の2回の深呼吸のみ指導する	5 4 3 2 1
149	怒責を我慢をさせない	5 4 3 2 1
150	怒責時間を短く痛れないように配慮する	5 4 3 2 1
151	呼吸法(歌)と一緒に歌う	5 4 3 2 1
(会陰保護等)		
152	児の娩出力の調節をする	5 4 3 2 1
153	軽いかみの助けをする	5 4 3 2 1
154	会陰にオリーブ油を塗る	5 4 3 2 1
155	会陰裂傷が起こらないようにする	5 4 3 2 1
156	母子共に安全であれば会陰が伸びるのを待つ	5 4 3 2 1
157	圧迫法(肛門)	5 4 3 2 1
158	会陰部の湿布	5 4 3 2 1
159	腰内へ氷タンポン	5 4 3 2 1
160	水中出産を行う	5 4 3 2 1
161	進行程度を鏡などで見せる	5 4 3 2 1
162	児の娩出時の瞬間を産婦に見せる	5 4 3 2 1
163	胎盤を見せて説明する	5 4 3 2 1
分娩台の使用		
164	ソフトな分娩台を使う	5 4 3 2 1
165	冷たくないようフアー(手布など)を敷く	5 4 3 2 1
166	分娩台の調節	5 4 3 2 1
167	足台を使う時間を15分位にする	5 4 3 2 1
168	分娩台を使用しない	5 4 3 2 1
169	分娩台の使用は30分以内にする	5 4 3 2 1
170	側臥位の時間を長くする	5 4 3 2 1
環境の配慮		
171	分娩室と陣痛室が近い	5 4 3 2 1
172	和室で過ごす	5 4 3 2 1
173	空間を大きく取る	5 4 3 2 1
174	限り豊かな環境を整える	5 4 3 2 1
175	アロマを使う	5 4 3 2 1
176	どこでもすぐに出産できる体制を作るようにする	5 4 3 2 1
177	分娩室の照明を暗くする	5 4 3 2 1
178	冷暖房を調節する	5 4 3 2 1
179	換気をする	5 4 3 2 1
180	スタッフの存在がじゃまにならないようにする	5 4 3 2 1
181	スタッフ同士の不必要な会話をしない	5 4 3 2 1
アタッチメントの形成		
182	臍帯でつながったまま児をだっこする	5 4 3 2 1
183	ベビーを触っていられる様にする	5 4 3 2 1
184	出生後30分以内に直母をすわせる	5 4 3 2 1
185	分娩直後から母子共に過ごせるようにする	5 4 3 2 1
186	分娩直後は直接胸の上に児をけわせる	5 4 3 2 1
187	母子の肌と肌が直接触れるように拘りかせる	5 4 3 2 1

家族へのケア			
188	付き添い者を尊重する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
189	家族も落ち着くように配慮する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
190	家族へ飲み物を準備する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
191	家族のために別室を用意する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
192	夫に付き添いのコツを説明する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
193	夫の協力は自由にする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
194	希望により夫が脐帯を切る	5 4 3 2 1	4 3 2 1
195	家族と共に腰背部のマッサージ、指圧をする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
196	家族に付き添いのコツを説明する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
197	胎児心音を家族に聞かせる	5 4 3 2 1	4 3 2 1
198	上の子どもがお産に参加できるように配慮する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
199	出産直後、親子で記念写真を撮る	5 4 3 2 1	4 3 2 1
200	産まれた後家族だけで過ごせる時間を意図的に作る	5 4 3 2 1	4 3 2 1
異常の発見・対応			
201	異常の早期発見を心がける	5 4 3 2 1	4 3 2 1
202	出血多量の時の処置を常に考える	5 4 3 2 1	4 3 2 1
面会や立ち会いへの配慮			
203	本人の意に沿わない面会人を制限する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
204	子どもの面会を制限する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
205	家族の面会を自由にする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
206	希望する人のみ家族の立ち会い	5 4 3 2 1	4 3 2 1
スタッフ間の調整について			
207	スタッフを揃える	5 4 3 2 1	4 3 2 1
208	分娩まで1対1でケアをする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
209	陣痛が3分以内になればずっとスタッフの誰かが付き添う	5 4 3 2 1	4 3 2 1
210	早めに補佐の助産婦を呼び、安楽介助に頼ってもらう	5 4 3 2 1	4 3 2 1
211	医師との連携をとる	5 4 3 2 1	4 3 2 1
212	医師を早く呼びすぎない	5 4 3 2 1	4 3 2 1
その他			
213	施設内設備の説明をする	5 4 3 2 1	4 3 2 1

2. あなたが助産婦として産婦の「安全」を確保するために、以下の項目について実際に行われている頻度と重要であると考える程度についてお答えください。
例にならって、あてはまると思う数字に○をつけて下さい。

また、ナースコールを設置していない、自宅分娩のみを取り扱っているなど設備や、勤務形態の都合上、実施ができないケア項目については、「都合上実施できない」の欄に○をつけ、重要度のみ解答してください。

実践頻度については、以下を参考にしてください。

- いつもしている : 毎回行っている
 かなりしている : 3回に約2回は行っている
 時にしている : 2回に約1回は行っている
 あまりしていない : 3回に約1回は行っている
 していない : 全くしていない

	実践頻度					重要度		
	都合上実施できない	いつもしている	かなりしている	時にしている	あまりしていない	非常に重要である	あまり重要でない	重要でない
産婦の「安全性」へのケア内容								
例) ナースコールについて説明する	○	5	4	3	2	1	④	3 2 1
助産婦の姿勢								
1 自分の最善をつくしてケアをする		5	4	3	2	1		4 3 2 1
2 この世に使命を持って来る者は必ず生きられると考えてケアしている		5	4	3	2	1		4 3 2 1
3 産婦の主体性を尊重する		5	4	3	2	1		4 3 2 1
4 痛みを一緒に乗り越えていく姿勢をもつ		5	4	3	2	1		4 3 2 1
5 助産婦として医療行為をしないよう注意する		5	4	3	2	1		4 3 2 1
6 不必要な介入を避けるようにする		5	4	3	2	1		4 3 2 1
個々の産婦を尊重した関わり								
7 処置についてのインフォームドコンセントを行う		5	4	3	2	1		4 3 2 1
8 点滴は分娩第Ⅱ期から行うようにする		5	4	3	2	1		4 3 2 1
信頼関係を重視								
9 相手の訴え、話を聞く		5	4	3	2	1		4 3 2 1
10 産婦の訴えを大切に受け止める		5	4	3	2	1		4 3 2 1
入院の対応								
11 陣痛開始になったら、電話連絡をもらう		5	4	3	2	1		4 3 2 1
12 入院の適切な時期を見極める		5	4	3	2	1		4 3 2 1
観察項目・方法								
13 陣痛の間隔 (触診)		5	4	3	2	1		4 3 2 1
14 陣痛の間隔 (モニター)		5	4	3	2	1		4 3 2 1
15 痛みの部位		5	4	3	2	1		4 3 2 1
16 痛みの程度		5	4	3	2	1		4 3 2 1
17 表情		5	4	3	2	1		4 3 2 1
18 訴え		5	4	3	2	1		4 3 2 1
19 態度		5	4	3	2	1		4 3 2 1
20 息づかい		5	4	3	2	1		4 3 2 1
21 気持ち		5	4	3	2	1		4 3 2 1
22 外診		5	4	3	2	1		4 3 2 1
23 内診		5	4	3	2	1		4 3 2 1
24 回旋		5	4	3	2	1		4 3 2 1
25 破水		5	4	3	2	1		4 3 2 1
26 胎児下降感 (レオポルド)		5	4	3	2	1		4 3 2 1
27 胎児下降感 (内診)		5	4	3	2	1		4 3 2 1
28 胎児下降感 (肛門状態)		5	4	3	2	1		4 3 2 1

	(その他)		5	4	3	2	1	4	3	2	1
29	既往歴		5	4	3	2	1	4	3	2	1
30	バイタルサイン		5	4	3	2	1	4	3	2	1
31	母体の意識レベル		5	4	3	2	1	4	3	2	1
32	出血量		5	4	3	2	1	4	3	2	1
33	薬品使用の場合、その効果・副作用		5	4	3	2	1	4	3	2	1
観察の際に心がけること											
34	そばにいる		5	4	3	2	1	4	3	2	1
35	継続的に観察する		5	4	3	2	1	4	3	2	1
36	詳細に観察する		5	4	3	2	1	4	3	2	1
37	声かけを充分にする		5	4	3	2	1	4	3	2	1
38	訴えをよく聞く		5	4	3	2	1	4	3	2	1
39	訴えを無視しない		5	4	3	2	1	4	3	2	1
40	患者の訴えだけでなく、自分で確認する		5	4	3	2	1	4	3	2	1
分娩第Ⅰ期の過ごし方											
(体力保持)											
41	食事をとれるようにする		5	4	3	2	1	4	3	2	1
42	睡眠をとれるようにする		5	4	3	2	1	4	3	2	1
43	体力を付けておくようにする		5	4	3	2	1	4	3	2	1
44	保温に努める		5	4	3	2	1	4	3	2	1
(リラックス)											
45	腰部マッサージ		5	4	3	2	1	4	3	2	1
46	呼吸法を指導する		5	4	3	2	1	4	3	2	1
47	「あー」と発声する		5	4	3	2	1	4	3	2	1
48	体を動かすようにする		5	4	3	2	1	4	3	2	1
49	姿勢を妨げないようにする		5	4	3	2	1	4	3	2	1
50	体位を工夫する		5	4	3	2	1	4	3	2	1
51	側臥位をとるようにする		5	4	3	2	1	4	3	2	1
52	リラックスを促す		5	4	3	2	1	4	3	2	1
分娩経過の説明											
53	分娩経過を説明する		5	4	3	2	1	4	3	2	1
54	正しい情報を伝える		5	4	3	2	1	4	3	2	1
55	ベビーが元気であることを伝える		5	4	3	2	1	4	3	2	1
56	陣痛促進剤が必要な時は、医師から説明してもらうようにする		5	4	3	2	1	4	3	2	1
57	産婦の納得を得るようにする		5	4	3	2	1	4	3	2	1
精神面のケア											
58	話し相手になる		5	4	3	2	1	4	3	2	1
59	制限は少なくする		5	4	3	2	1	4	3	2	1
60	体に触れる		5	4	3	2	1	4	3	2	1
61	自分のペースで乗り切れるようにできるだけ側にいる		5	4	3	2	1	4	3	2	1
62	痛みが強くと、体動が激しいとき付き添う		5	4	3	2	1	4	3	2	1
63	不信感を抱かせないようにする		5	4	3	2	1	4	3	2	1
64	緊張をさせる言動を避ける		5	4	3	2	1	4	3	2	1
分娩室への入室											
65	分娩室入室時期を適切に判断する		5	4	3	2	1	4	3	2	1
66	ゆとりを持って分娩室に移動する		5	4	3	2	1	4	3	2	1
分娩第Ⅱ期・Ⅲ期のケア											
67	会陰部の温湿布を行う		5	4	3	2	1	4	3	2	1
68	会陰部の保護を行う		5	4	3	2	1	4	3	2	1
69	陣痛発作後の深呼吸2回のみ指導する		5	4	3	2	1	4	3	2	1
70	仰臥位で努責する時間を短くする		5	4	3	2	1	4	3	2	1
71	陣痛発来時以外は努責させない		5	4	3	2	1	4	3	2	1
72	努責感がなければ努責させない		5	4	3	2	1	4	3	2	1
73	産露時の息の吐かせ方を指導する		5	4	3	2	1	4	3	2	1
74	人工破膜を安易に行わない		5	4	3	2	1	4	3	2	1
75	児頭が出口部まで下降するまで破水させない		5	4	3	2	1	4	3	2	1
76	母子共に安全であれば、多少時間がかかっても待つ		5	4	3	2	1	4	3	2	1
77	母子共に安全であれば、なるべく自然の分娩進行に任せる		5	4	3	2	1	4	3	2	1

78	胎児娩出を急がない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
79	胎盤娩出を急がない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
80	胎盤剥離を確かめる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
81	胎盤剥離を促す	5	4	3	2	1	4	3	2	1
82	輪状マッサージを行う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
83	子宮底に冷罨法を行う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
84	子宮収縮の必要性を説明する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
85	弛緩出血が考えられれば、導尿する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
環境への配慮										
86	リラックスできる環境を整える	5	4	3	2	1	4	3	2	1
87	温度を調節する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
88	湿度を調節する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
89	照明を調節する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
90	アロマを使用する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
91	産婦の好きな音楽をかける	5	4	3	2	1	4	3	2	1
家族へのケア										
92	家族と対話する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
93	夫に産婦を励ましてもらう	5	4	3	2	1	4	3	2	1
異常の早期発見										
94	全身状態の異常を見落とさない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
95	異常兆候を見逃さない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
異常時の対応										
96	異常になることを常に予測して対応する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
97	緊急時に備える	5	4	3	2	1	4	3	2	1
98	素早い救急処置をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
99	救急物品の点検、整備をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
100	児の蘇生の準備をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
101	機敏に対応できるようにしておく	5	4	3	2	1	4	3	2	1
102	破水時は抗生剤の内服をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
103	児心音低下には、酸素吸入をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
スタッフ間の調整について										
104	早めに医師に相談する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
105	早期に病院などへの搬送を考える	5	4	3	2	1	4	3	2	1
106	医師との連携をスムーズにする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
107	正常に進んでいても、医師に分娩の進行を報告する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
108	関連部門への連絡をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
109	助産婦2人以上で出産を介助する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
事故防止										
110	転落の防止をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
111	転倒の防止をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
112	ベッド柵の工夫をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
113	ベッドの高さの工夫をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
114	階段を利用しないようにする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
115	使い捨ての用品を使用する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
必要な能力										
116	リスク要因の判断をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
117	安全な助産技術を提供する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
118	内診による十分な診断と予測をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1

3. 胎児心音の観察方法についておたずねします。

助産婦として母子の「安全」を確保するために、
あなたは、何を用いてどのように胎児心音を観察していますか？

(例) 入院時 (分娩監視装置を40分程度装着する)

入院時 (

分娩第Ⅰ期 (

破水時 (

分娩第Ⅱ期 (

5. 最後に、以下の項目であてはまる番号を○で囲み、□内は数字をお書き下さい。

1) あなたの年齢はいくつですか (平成14年4月1日現在) □ 歳

2) 助産婦としての臨床経験は何年ですか □ 年

3) 現在の就業場所はどれですか
①大学病院 ②大学病院以外の総合病院
③その他の病院単科病院、小児科・産科病院など ④診療 ⑤助産所
⑥その他 ()

4) 現在の職位 (名称が違う場合は同等の職位) はどれですか
①看護 (副) 部長 ② (助産) 院長 ③ (副) 婦長
④主任・係長 ⑤スタッフ

お忙しい中、調査にご協力いただきまして、心より感謝を申し上げます。
次回も本調査にご協力いただける方は、下記の枠内にご住所とお名前をお書き下さい。

ご住所 〒
お名前

平成14年7月8日

(社) 日本助産師会会員 各位

平成 14 年度厚生科学研究事業「助産所における安全で快適な妊娠・出産環境の確保に関する研究」

分担研究者 高田 昌代

3 回目調査のお願い

拝啓

神戸では、昨日の七夕様の再会を夜空で見ることができましたが、皆様の地域ではいかがでしたでしょうか？涼風が恋しい季節となりました。皆様におかれましては益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、御多忙にもかかわらず産婦の 2 回目の調査にご協力いただき心よりお礼申し上げます。お願いしている私達もただならぬ質問項目の量に、心苦しさを感じておりましたところ、回収率が約 7 割と多くの助産師の方々に協力頂きましたこと、なんとお礼申し上げてよいかわからない程、感謝致しております。また、今回で最終回になります 3 回目にご協力下さるとのお返事を頂き、重ねて御礼申し上げます。

2 回目調査で、助産師の多くの方々が産婦に対して日頃実践されているケアの内容が浮き彫りになってまいりました。3 回目調査では、2 回目調査で分かった実践頻度の多い項目を精選し、もう一度、「快適さ」と「安全性」のケアで実践されている頻度とその重要性についてお伺い致す次第です。書き方は、2 回目調査と同様に該当するところに○印をお付け下さい。

夏期休暇等でお忙しいこととは存じますが、7 月 29 日 (月) までに同封の封筒にてご返送頂きますようお願い致します。

尚、この研究にご協力いただけない場合においても、不利を被ることはないことと、プライバシーの確保には細心の配慮を致すことをお約束致します。

煩雑な調査にご協力頂き、感謝の気持ちを込めて心ばかりの御礼を同封させていただきますので、ご笑納下さい。また、今回の調査結果をご希望される方は、調査用紙の末尾に送付先をご記入下さい。

敬具

お問合せ先：神戸市西区学園西町 3-4

神戸市看護大学 高田研究室

TEL/FAX 078-794-8077 E-mail mtakada@tr.kobe-ccn.ac.jp

1. あなたが助産師として産婦の「快適」を確保するために、以下の項目について
 実際に行われている頻度と重要であると考えられる程度についてお答えください。
 例にならって、あてはまると思う数字に○をつけて下さい。

実践頻度 いつもしている : 毎行っている
 かなりしている : 3回に2回は行っている
 時にしている : 2回に1回は行っている
 あまりしていない : 3回に1回は行っている
 していない : 全くしていない

重要度 5は非常に重要で、暫時重要度は低下し、1はほとんど
 必要ないことを表す。

	実践頻度					重要度				
	い つ も し て い る	か な り し て い る	時 に し て い る	あ ま り し て い な い	し て い な い	5	4	3	2	1
産婦の「快適さ」へのケア内容										
例) 分娩台の背もたれを調節する	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
助産師の姿勢										
1 適確な診断に心がける	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 適切な対処方法を行うようにする	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 処置技術の確実さに心がける	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 自然の流れに沿って根気よく待つ	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 自然分娩ができるように共に歩む	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 専門家としての提案をしていく	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 産む力、生まれる力を最大限に引き出すよう援助する	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 助産師は大声を出さない	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 助産師はパニックにならない	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 助産師は粗暴な動作を避ける	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11 明るい雰囲気心がける	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12 お産がよい思い出となるよう演出する	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13 お祝いのムードを高める	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
個々の産婦を尊重した関わり										
14 プライバシーを守る	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15 内診を最小限にするように心がける	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16 十分に説明し同意を得るように心がける	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17 分娩経過における産婦の権利を尊重する	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18 本人の意志を大切に	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19 産婦の主体性に任せる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20 本人の要求することを満たす	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21 相手が理解できる言葉で話す	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
入院時期の判断										
22 診察した上で入院を決める	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
観察										
23 産婦の言葉	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
24 リラックスの程度	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
25 発汗状態	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

分娩第1期の過ごし方		
26	なるべく自然に過ごす	5 4 3 2 1
27	なるべく自由に過ごす	5 4 3 2 1
28	自由に動きまわる	5 4 3 2 1
29	排尿を促す	5 4 3 2 1
30	水分補給	5 4 3 2 1
31	栄養補給	5 4 3 2 1
32	掛け物の調節をする	5 4 3 2 1
33	パットを代える	5 4 3 2 1
34	吐き気や嘔吐時、手で持ちやすい容器を渡す	5 4 3 2 1
35	嘔吐後、口をゆすぐ水分を用意する	5 4 3 2 1
分娩経過の説明		
36	心音を本人に聞かせる	5 4 3 2 1
37	分娩の予測を伝える	5 4 3 2 1
38	分娩経過を伝える	5 4 3 2 1
39	初産婦・経産婦との分娩進行の違いを話す	5 4 3 2 1
精神面のケア		
40	不安を与える言動を避ける	5 4 3 2 1
41	無理強いしない	5 4 3 2 1
42	家族と共に過ごせるように配慮していく	5 4 3 2 1
43	陣痛をマイナスイメージで受け取らないように配慮する	5 4 3 2 1
44	落ち着いた態度で接する	5 4 3 2 1
45	ねぎらいの声かけ	5 4 3 2 1
46	しからない	5 4 3 2 1
47	がんばりをほめる	5 4 3 2 1
分娩第2期・産期のケア		
48	分娩室への入室時期の判断をする	5 4 3 2 1
49	産婦のいきみやすい姿勢にする	5 4 3 2 1
50	会陰裂傷がおこらないようにする	5 4 3 2 1
51	母子共に安全であれば会陰が伸びるのを待つ	5 4 3 2 1
アタッチメントの形成		
52	ベビーを触ってられるようにする	5 4 3 2 1
53	分娩直後から母児が一緒に過ごせるようにする	5 4 3 2 1
家族へのケア		
54	付き添い者を尊重する	5 4 3 2 1
55	家族も落ち着くように配慮する	5 4 3 2 1
56	夫に付き添いのコツを説明する	5 4 3 2 1
57	夫の協力は自由にする	5 4 3 2 1
58	家族と共に腰背部のマッサージ、指圧をする	5 4 3 2 1
59	家族に付き添いのコツを説明する	5 4 3 2 1
60	胎児心音を家族に聞かせる	5 4 3 2 1
61	産まれた後家族だけで過ごせる時間を意図的に作る	5 4 3 2 1
異常の発見・対応		
62	異常の早期発見を心がける	5 4 3 2 1
63	出血多量の時の処置を常に考える	5 4 3 2 1
面会や立ち会いへの配慮		
64	家族の面会を自由にする	5 4 3 2 1
65	産婦が希望する場合のみ家族の立ち会いをする	5 4 3 2 1
その他		
66	施設内設備の説明をする	5 4 3 2 1

2. あなたが助産師として産婦の「安全」を確保するために、以下の項目について
 実際に行われている頻度と重要であると考える程度についてお答えください。
 例にならって、あてはまると思う数字に○をつけて下さい。

実践頻度 いつもしている : 毎行っている
 かなりしている : 3回に2回は行っている
 時にしている : 2回に1回は行っている
 あまりしていない: 3回に1回は行っている
 していない : 全くしていない

重要度 5は非常に重要で、暫時重要度は低下し、1はほとんど
 必要ないことを表す。

	実践頻度	重要度												
			い つ も し て い る	か な り し て い る	時 に し て い る	あ ま り し て い な い	し て い な い	5	4	3	2	1		
産婦の「安全性」へのケア内容														
例) ナースコールについて説明する	⑤ 4 3 2 1	5 ④ 3 2 1												
助産師の姿勢														
1 自分の最善をつくしてケアをする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
2 この世に使命を持って来る者は必ず生きられると考えてケアする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
3 産婦の主体性を尊重する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
4 助産師として医療行為をしないよう注意する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
個々の産婦を尊重した関わり														
5 処置についてのインフォームドコンセントを行う	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
6 相手の訴え、話を聞く	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
入院の対応														
7 陣痛開始になったら、電話連絡をもらう	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
8 入院の適切な時期を見極める	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
観察項目・方法														
9 定期的に胎児心拍数と陣痛の関係をみる	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
10 痛みの部位	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
11 痛みの程度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
12 表情	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
13 訴え	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
14 態度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
15 息づかい	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
16 気持ち	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
17 外診	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
18 回旋	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
19 破水	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
20 胎児下降感 (レオポルド)	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
21 胎児下降感 (内診)	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
22 胎児下降感 (肛門状態)	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
23 既往歴	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												
24 バイタルサイン	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1												

25	母体の意識レベル	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
26	出血量	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
観察の際に心がけること			
27	そばにいる	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
28	声かけを充分にする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
29	訴えをよく聞く	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
分娩第(初)期の過ごし方			
30	食事をとれるようにする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
31	睡眠をとれるようにする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
32	体力をつけておくようにする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
33	保温に努める	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
34	呼吸法を指導する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
35	体を動かすようにする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
36	姿勢を妨げないようにする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
37	体位を工夫する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
分娩経過の説明			
38	ベビーが元気であることを伝える	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
39	産婦の納得を得るようにする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
精神面のケア			
40	話し相手になる	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
41	制限は少なくする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
42	体に触れる	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
43	自分のペースで乗り切れるようできるだけ側にいる	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
44	痛みが強く、体動が激しいとき付き添う	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
45	不信感をいだかせないようにする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
46	緊張をさせる言動を避ける	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
分娩室への入室			
47	分娩室入室時期を適切に判断する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
分娩第(第)期・(第)期のケア			
48	出産中、仰向け以外の姿勢をすすめる	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
49	陣痛発来時以外は努責させない	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
50	努責感がなければ努責させない	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
51	人工破膜を安易に行わない	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
52	母子共に安全であれば、多少時間がかかっても待つ	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
53	母子共に安全であれば、なるべく自然の分娩進行に任せる	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
54	胎児娩出を急がない	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
55	胎盤娩出を急がない	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
56	臍帯を切断するときには、滅菌消毒をした器具を使用する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
57	全例に胎盤と卵膜の検査を行う	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
環境への配慮			
58	リラックスできる環境を整える	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
59	室温を調節する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
家族へのケア			
60	夫に産婦を励ましてもらう	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
異常時の対応			
61	異常になることを常に予測して対応する	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
62	緊急時に備える	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
63	素早い救急処置をする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
64	救急物品の点検、整備をする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
65	児の蘇生の準備をする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
66	機敏に対応できるようにする	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1

事故防止		
67	転落の防止をする	5 4 3 2 1
68	転倒の防止をする	5 4 3 2 1
69	出産に使われる使い捨て器具は、一回に限って使用する	5 4 3 2 1
70	再利用できる器具は適切な方法で汚染のないようにする	5 4 3 2 1
71	内診時は、手袋を着用する	5 4 3 2 1
72	児の娩出の介助時は、手袋を着用する	5 4 3 2 1
73	胎盤を扱うときには、手袋を着用する	5 4 3 2 1
必要な能力		
74	リスク要因の判断をする	5 4 3 2 1
75	安全な助産技術を提供する	5 4 3 2 1
76	内診による十分な診断と予測をする	5 4 3 2 1

3. 最後に、以下の項目であてはまる番号を○で囲み、□内は数字をお書き下さい。

- 1) あなたの年齢はいくつですか（平成14年4月1日現在） 歳
- 2) 助産師としての臨床経験は何年ですか 年
- 3) 現在の就業場所はどれですか

(a)大学病院 (b)大学病院以外の総合病院
 (c)その他の病院（単科病院、小児科・産科病院など） (d)診療所 (e)助産所
 (f)その他（)

- 4) 現在の職位（名称が違う場合は同等の職位）はどれですか
 (a)看護（副）部長 (b)（助産）院長 (c)（副）婦長
 (d)主任・係長 (e)スタッフ

お忙しい中、調査にご協力いただきまして、心より感謝を申し上げます。
 本調査結果をご希望の方には、後日結果をお送り致したいと思いますので、
 下記の枠内にご住所とお名前をお書きください。

ご住所 〒
お名前

1. あなたが助産婦として褥婦の「快適」を確保するために、以下の項目について
実際に行われている頻度と重要であると考える程度についてお答えください。
 例にならって、あてはまると思う数字に○をつけて下さい。

また、ナースコールを設置していない、自宅分娩のみを取り扱っているなど設備や、
 勤務形態の都合上、実施ができないケア項目については、「都合上実施できない」
 の欄に○をつけ、重要度のみ解答してください。

実践頻度については、以下を参考にしてください。
 いつもしている : 毎回行っている
 かなりしている : 3回に約2回は行っている
 時にしている : 2回に約1回は行っている
 あまりしていない : 3回に約1回は行っている
 していない : 全くしていない

	都合上実施できない	実践頻度				重要度				
		い つ も し て い る	か な り し て い る	時 に し て い る	あ ま り し て い な い	重 要 と し て い る	少 し 重 要 と し て い る	あ ま り 重 要 と し て い る	重 要 と し て い な い	
褥婦・新生児の「快適さ」へのケア内容										
例) 構造上、新生児室を設けていない	○	5	4	3	2	1	④	3	2	1
助産婦としての基本的な姿勢について										
1 笑顔で接する		5	4	3	2	1	4	3	2	1
2 優しい口調で話す		5	4	3	2	1	4	3	2	1
3 肯定的な声かけをするよう心がける		5	4	3	2	1	4	3	2	1
4 腰を据えて話をする		5	4	3	2	1	4	3	2	1
5 本人の不安、悩みを聞き、それに答える		5	4	3	2	1	4	3	2	1
6 訴えやすい雰囲気作りを心がける		5	4	3	2	1	4	3	2	1
7 励ます		5	4	3	2	1	4	3	2	1
8 母親に自信をもたせるよう心がける		5	4	3	2	1	4	3	2	1
9 神経質にならない		5	4	3	2	1	4	3	2	1
10 訪室するよう心がける		5	4	3	2	1	4	3	2	1
11 ケアに時間をかける		5	4	3	2	1	4	3	2	1
12 ナースコール時は直ちに訪室する		5	4	3	2	1	4	3	2	1
13 母親になったことを共に喜ぶ		5	4	3	2	1	4	3	2	1
14 幸せな入院生活を送ってもらえるよう心がける		5	4	3	2	1	4	3	2	1
15 ぬくもりを感じる生活を心がける		5	4	3	2	1	4	3	2	1
16 母親の時間を大切にする		5	4	3	2	1	4	3	2	1
17 分娩された方には尊敬の態度を心がける		5	4	3	2	1	4	3	2	1
18 分娩場所には尊敬の態度を心がける		5	4	3	2	1	4	3	2	1
19 当産院で扱わない分娩介助については批判しない		5	4	3	2	1	4	3	2	1
20 母乳100%を推奨する		5	4	3	2	1	4	3	2	1
21 入院中のQOLを考える		5	4	3	2	1	4	3	2	1
個々の褥婦を尊重したケアについて										
22 母親を中心としたケアを提供する		5	4	3	2	1	4	3	2	1
23 本人の行動にあわせたケアを調整する		5	4	3	2	1	4	3	2	1
24 相手の生活に合わせた指導をする		5	4	3	2	1	4	3	2	1
25 褥婦の母乳育児に対する思いに沿った形でケアを行う		5	4	3	2	1	4	3	2	1
26 本人の希望（ニーズ）に沿うように心がける		5	4	3	2	1	4	3	2	1
27 個々のペースをつかむ		5	4	3	2	1	4	3	2	1
28 褥婦があせらないように、他と比べないように助産婦が接する		5	4	3	2	1	4	3	2	1
29 分娩の労をねぎらう		5	4	3	2	1	4	3	2	1
30 出産時の感動を話す		5	4	3	2	1	4	3	2	1
31 入院中のスケジュールの説明をする		5	4	3	2	1	4	3	2	1

助産婦の児へ愛護について			
32	児の特徴を理解してケアをおこなう	5 4 3 2 1	4 3 2 1
33	ていねいに扱う	5 4 3 2 1	4 3 2 1
34	優しく扱う	5 4 3 2 1	4 3 2 1
35	声をかけながらケアをする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
36	我が子に接するのと同じように接する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
37	自然な流れを大切に见守る	5 4 3 2 1	4 3 2 1
38	よく生まれてきたねという言葉かけをする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
39	母の感動、感激、悲しみを共に见守る	5 4 3 2 1	4 3 2 1
40	母乳共に頑張ったことを敬う	5 4 3 2 1	4 3 2 1
41	授乳、おむつ交換、お風呂以外は体に触らず见守ってあげる	5 4 3 2 1	4 3 2 1
42	目を合わせる	5 4 3 2 1	4 3 2 1
43	てい泣をできるだけさせない	5 4 3 2 1	4 3 2 1
44	泣いたらできるだけ早くだっこする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
45	手際良くケアをする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
46	ゆっくりと処置する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
47	静かな環境で処置を行う	5 4 3 2 1	4 3 2 1
出生直後の新生児のケア			
48	インファントウォーマーの準備をする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
49	顔面清拭をする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
50	顔面清拭後、羊水吸引をする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
51	顔を拭いて呼吸の確立ができれば、吸引は行わない	5 4 3 2 1	4 3 2 1
52	アプガールスコアを観察する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
53	拍動が止まってから臍帯を切断する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
54	臍帯切断後の出血を確認する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
55	羊水、血液をふき取る	5 4 3 2 1	4 3 2 1
56	バスタオルで覆う	5 4 3 2 1	4 3 2 1
57	点眼をする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
58	計測をする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
59	奇形の有無をチェックする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
60	強い啼泣を促す	5 4 3 2 1	4 3 2 1
61	児をしばらく静かにしておく	5 4 3 2 1	4 3 2 1
62	必要時酸素を使用する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
63	インファントウォーマーで処置をする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
64	沐浴後臍帯処置をする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
65	臍帯切断前に、母親に児を抱かせる	5 4 3 2 1	4 3 2 1
66	臍帯切断直後に、母に児をふれさせる	5 4 3 2 1	4 3 2 1
67	臍帯切断直後に、直母をさせる	5 4 3 2 1	4 3 2 1
68	分娩直後に、自由に児を抱くことができるようにする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
69	児が元気なら母とのスキンシップを勧める	5 4 3 2 1	4 3 2 1
70	2時間以内に母子のスキンシップをする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
71	児に声をかける	5 4 3 2 1	4 3 2 1
72	出産直後に父親、上の子の入室をする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
73	出産直後に父親、上の子と写真撮影をする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
観察項目について (褥婦)			
74	一般状態	5 4 3 2 1	4 3 2 1
75	出血	5 4 3 2 1	4 3 2 1
76	食欲	5 4 3 2 1	4 3 2 1
77	気持ちの変化	5 4 3 2 1	4 3 2 1
78	児を見る視線の様子	5 4 3 2 1	4 3 2 1
79	乳汁分泌状態	5 4 3 2 1	4 3 2 1
80	排気や寝かせ方を理解しているかどうか	5 4 3 2 1	4 3 2 1
観察項目について (新生児)			
81	バイタルサイン	5 4 3 2 1	4 3 2 1
82	筋緊張	5 4 3 2 1	4 3 2 1
83	反射	5 4 3 2 1	4 3 2 1
84	黄疸	5 4 3 2 1	4 3 2 1
85	体重	5 4 3 2 1	4 3 2 1
86	排泄	5 4 3 2 1	4 3 2 1

87	吐物	5	4	3	2	1	4	3	2	1
88	吸嚙力	5	4	3	2	1	4	3	2	1
89	授乳量	5	4	3	2	1	4	3	2	1
90	授乳回数	5	4	3	2	1	4	3	2	1
91	睡眠	5	4	3	2	1	4	3	2	1
92	股関節脱臼の有無	5	4	3	2	1	4	3	2	1
93	母と子の関係が成立しているか	5	4	3	2	1	4	3	2	1
授乳の全身のケアについて										
94	アロマセラピー	5	4	3	2	1	4	3	2	1
95	テルミー温熱療法	5	4	3	2	1	4	3	2	1
96	温灸	5	4	3	2	1	4	3	2	1
97	(マッサージ) 全身	5	4	3	2	1	4	3	2	1
98	(マッサージ) 肩	5	4	3	2	1	4	3	2	1
99	(マッサージ) 下半身	5	4	3	2	1	4	3	2	1
100	(マッサージ) 背部	5	4	3	2	1	4	3	2	1
101	三陰交等つぼマッサージ	5	4	3	2	1	4	3	2	1
102	(マッサージ) オイル	5	4	3	2	1	4	3	2	1
103	指圧	5	4	3	2	1	4	3	2	1
104	シャワー介助	5	4	3	2	1	4	3	2	1
105	清拭	5	4	3	2	1	4	3	2	1
106	足浴	5	4	3	2	1	4	3	2	1
107	腰湯	5	4	3	2	1	4	3	2	1
108	腹帯をまく	5	4	3	2	1	4	3	2	1
109	母親が疲労している時には、面会を調整する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
110	母親が疲労している時には、児を預かる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
111	産後の痛みコントロールを行う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
112	マイナートラブルへの対応をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
授乳の外陰部ケアについて										
113	会陰消毒に、ラベンダー綿花を使用する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
114	子宮底の輪状マッサージをする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
115	外陰部の消毒をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
116	外陰部の腫脹があるときは、リバガーゼを貼付する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
117	円座を使用する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
118	産褥椅子を使用する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
119	鎮痛剤の処方依頼をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
授乳に関するケアについて										
120	母乳確立につとめる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
121	脇抱きで授乳を行う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
122	添い寝で授乳を行う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
123	乳房を傷つけない飲ませ方を習得させる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
124	乳頭を傷つけない飲ませ方を習得させる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
125	母乳が吸えるよう援助する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
126	授乳方法について説明する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
127	自律授乳を行う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
128	頻回に授乳をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
129	泣いたらいつでも直母吸てつできるよう環境を整える	5	4	3	2	1	4	3	2	1
130	直母でたりる人は夜間授乳をすすめる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
131	糖水を足す	5	4	3	2	1	4	3	2	1
132	ミルクは使用しない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
133	直母の不足時はミルク追加をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
134	3～4日目の母乳緊満の手当を行う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
135	乳房の緊満が強度の場合は、じゃがいも湿布をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
136	授乳ケアで痛みを伴うことは避ける	5	4	3	2	1	4	3	2	1
137	初乳の重要性を説明する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
138	乳房の自己管理について説明する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
139	S.M.C.について説明する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
140	乳房マッサージを行う	5	4	3	2	1	4	3	2	1

141	授乳後は児を側臥位にする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
142	児の顔を横向きにする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
143	排気を母親が行えるよう援助する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
144	母乳栄養を無理強いしない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
新生児のケア（清潔）について										
145	沐浴をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
146	沐浴時、保温に心がける	5	4	3	2	1	4	3	2	1
147	夏には、2回沐浴する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
148	スポンジを使用し児の体を洗う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
149	沐浴時は石鹸を使用しない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
150	沐浴時は石鹸を使用する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
151	ヨモギ浴をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
152	全身（顔も含む）を石鹸で洗う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
153	爪きりをする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
154	目の清潔に心がける	5	4	3	2	1	4	3	2	1
155	口の清潔に心がける	5	4	3	2	1	4	3	2	1
新生児のケア（おむつ・衣類・リネン）について										
156	布おむつを使用する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
157	おむつが汚れたら直ぐ替える	5	4	3	2	1	4	3	2	1
158	おむつは授乳後30分経ってから交換する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
159	排便時は、臀部清拭をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
160	暖かいお尻拭きを準備する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
161	寝衣が汚れたら直ぐ交換する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
162	清潔なリネン類を提供する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
163	タオル、ガーゼをこまめに交換する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
164	シーツ、毛布のしわとりをする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
165	衣類の調節をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
166	ベビー服を貸与をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
新生児のケア（環境）について										
167	強い光を当てない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
168	日の当たる部屋を準備する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
169	正常児ばかりの時は夜間の照明を少し暗くする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
170	室温の調節をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
171	児の足が冷たければ保温する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
172	寝具の調節をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
173	湿度の調節をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
174	換気に留意する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
175	空気清浄機を設置する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
176	テレビ、会話などの音が聞こえるところに児を寝かせる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
177	新生児室内に音楽を流す	5	4	3	2	1	4	3	2	1
178	子宮内と同じような音（商品名：ねんころりん）を聞かせる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
179	コットの移動は静かに行う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
新生児のケア（その他）について										
180	胎便を早く排泄させる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
181	ベビーの睡眠中は、沐浴・計測等の処置はしない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
182	感染への配慮をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
183	早く膈脱するように消毒、乾燥を繰り返す	5	4	3	2	1	4	3	2	1
184	K2シロップをのませる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
185	動物のように丸くする姿勢にする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
186	全身テルミーをする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
187	オイルマッサージをする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
188	ベビーマッサージをする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
189	足型をとる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
母子の愛着形成促進のための援助について										
190	母に抱っこをすすめる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
191	抱擁される快感を助産婦が妨げない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
192	赤ん坊の要求を満たす	5	4	3	2	1	4	3	2	1
193	母と子のスキンシップをとるよう話す	5	4	3	2	1	4	3	2	1

指導について			
194	貧血予防について	5 4 3 2 1	4 3 2 1
195	産褥体操について	5 4 3 2 1	4 3 2 1
196	適度な安静について	5 4 3 2 1	4 3 2 1
197	骨盤が歪まないような姿勢について	5 4 3 2 1	4 3 2 1
198	リラックスについて	5 4 3 2 1	4 3 2 1
199	顔張りすぎないように話す	5 4 3 2 1	4 3 2 1
200	家に帰って困った時の相談の場所を紹介する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
201	育児について		
202	抱き方について	5 4 3 2 1	4 3 2 1
203	オムツ交換について	5 4 3 2 1	4 3 2 1
204	衣類交換について	5 4 3 2 1	4 3 2 1
205	沐浴について	5 4 3 2 1	4 3 2 1
206	産褥までの消費と手当について	5 4 3 2 1	4 3 2 1
207	母親が沐浴を実施する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
208	ベビーの気持ちになって育児をするよう話す	5 4 3 2 1	4 3 2 1
事故防止について			
209	適切な処置を行う	5 4 3 2 1	4 3 2 1
210	褥瘡に手洗いを勧める	5 4 3 2 1	4 3 2 1
211	児の顔色や呼吸に気になる点があれば、いつでもスタッフを呼ぶように話す	5 4 3 2 1	4 3 2 1
212	手の消毒をする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
ケア体制について			
213	助産婦は隣の部屋で休む	5 4 3 2 1	4 3 2 1
214	毎日訪問をする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
215	退院後は1～2週間以内に電話訪問を行う	5 4 3 2 1	4 3 2 1
216	栄養士による哺乳指導を行う	5 4 3 2 1	4 3 2 1
217	栄養士による栄養指導を行う	5 4 3 2 1	4 3 2 1
218	いつでも連絡をとれるようにしておく	5 4 3 2 1	4 3 2 1
219	同じ助産婦が継続して乳児ケアを行う	5 4 3 2 1	4 3 2 1
220	マッサージ師による乳児マッサージを行う	5 4 3 2 1	4 3 2 1
221	マッサージ師による全身マッサージを行う	5 4 3 2 1	4 3 2 1
入院環境への配慮（全般的なことについて）			
222	プライバシーに配慮する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
223	母子が分離しないようにする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
224	家庭に近い入院生活を提供する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
225	ゆとりの時間をつくる	5 4 3 2 1	4 3 2 1
226	相部屋時には配慮をする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
入院環境への配慮（居室に関すること）			
227	清掃を行う	5 4 3 2 1	4 3 2 1
228	室温の調整	5 4 3 2 1	4 3 2 1
229	換気を行う	5 4 3 2 1	4 3 2 1
230	音への配慮をする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
231	採光への配慮をする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
232	花を飾る	5 4 3 2 1	4 3 2 1
233	トイレウォッシャー（ビデ）を使用する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
234	褥瘡の動線が短くなるように配慮する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
235	居室内に手洗い場を配備する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
236	ポットを配備する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
237	ほ乳瓶などの消毒物品を配備する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
238	冷蔵庫を配備する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
入院環境への配慮（食事に関すること）			
239	陶器の食器を使用する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
240	献立には魚を十分取り入れる	5 4 3 2 1	4 3 2 1
241	野菜中心の献立にする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
242	和食中心の献立にする	5 4 3 2 1	4 3 2 1
243	食事は自家製の米・野菜を使用する	5 4 3 2 1	4 3 2 1
244	だんご汁をだす	5 4 3 2 1	4 3 2 1
245	産後2日間は玄米クリーム（穀菜食）をだす	5 4 3 2 1	4 3 2 1

246	5日目に鯉こくをだす	5	4	3	2	1	4	3	2	1
247	好みのお茶を出す	5	4	3	2	1	4	3	2	1
248	低カロリー献立にする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
249	安全な食材を選択する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
250	入院婦同上と一緒に食事をとれるようにする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
251	分娩後8時間までは配膳・下膳をスタッフが行う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
252	家庭的雰囲気のような食卓にする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
253	見た目にも楽しめるよう食事の工夫をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
254	嫌いなものは出さない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
入院環境への配慮(衣類・寝具に関すること)										
255	リネンの貸し出しをする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
256	寝衣の貸し出しをする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
257	ナプキンの貸し出しをする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
258	衣服の制限はしない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
259	寝具の清潔に心がける	5	4	3	2	1	4	3	2	1
260	同伴している家族の衣類の洗濯をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
261	出血が多い時は、ベッドパッドを使用する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
262	控乳用タオルの貸し出しをする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
263	腹帯を毎日交換する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
家族へのケアについて										
264	家族の面会を制限しない	5	4	3	2	1	4	3	2	1
265	家族入院ができるようにする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
266	トの子どもも一緒に入院できるようにする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
267	分娩直夜夫が伴に泊まることできるようにする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
268	新しい家族関係成立への援助をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
269	家族と十分な関わりができるよう配慮する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
270	家族とのふれあい(パパだっこ)を心がける	5	4	3	2	1	4	3	2	1
271	家族とのふれあい(祖父母だっこ)を心がける	5	4	3	2	1	4	3	2	1
272	家族とのふれあい(兄弟のだっこ)を心がける	5	4	3	2	1	4	3	2	1
273	新生児、父、母の3人での時間をつくる	5	4	3	2	1	4	3	2	1
274	家族が過ごせるスペースの確保する	5	4	3	2	1	4	3	2	1
275	家族が児を受け容れ、世話ができるようにする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
276	希望時家族を含め指導を行う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
277	家族、特にトの子への新生児についての説明をする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
278	対象の家族構成、背景に沿ってケアを行う	5	4	3	2	1	4	3	2	1
279	父親に育児に参加してもらうようにする	5	4	3	2	1	4	3	2	1
280	沐浴を父親に実習してもらう	5	4	3	2	1	4	3	2	1
281	家事のサポートを手配する	5	4	3	2	1	4	3	2	1

2. あなたが助産婦として褥婦の「安全」を確保するために、以下の項目について実際に行われている頻度と重要であると考える程度についてお答えください。
例にならって、あてはまると思う数字に○をつけて下さい。

また、ナースコールを設置していない、自宅分娩のみを取り扱っているなど設備や勤務形態の都合上、実施ができないケア項目については、「都合上実施できない」の欄に○をつけ、重要度のみ解答してください。

実践頻度については、以下を参考にしてください。

- いつもしている : 毎回行っている
- かなりしている : 3回に約2回は行っている
- 時にしている : 2回に約1回は行っている
- あまりしていない : 3回に約1回は行っている
- していない : 全くしていない

	実践頻度					重要度		
	都合上実施できない	いつもしている	かなりしている	時にしている	あまりしていない	非常に重要である	あまり重要でない	重要でない
褥婦・新生児の「安全性」へのケア内容								
例) ナースコールについて説明する	○	5	4	3	2	1	④	3 2 1
助産婦としての基本的姿勢について								
1 見守る		5	4	3	2	1		4 3 2 1
2 強制的にならないように心がける		5	4	3	2	1		4 3 2 1
3 落ち着いた態度を心がける		5	4	3	2	1		4 3 2 1
4 産後の変化と共に歩む姿勢を心がける		5	4	3	2	1		4 3 2 1
5 責任の重大さを認識する		5	4	3	2	1		4 3 2 1
6 頻回に病室を訪問する		5	4	3	2	1		4 3 2 1
7 母子同室中は頻回に訪室する		5	4	3	2	1		4 3 2 1
8 母子関係が良好に保てるように心がける		5	4	3	2	1		4 3 2 1
9 母子を分離しない		5	4	3	2	1		4 3 2 1
10 母が児の扱いに慣れるまで意識的にかかわる		5	4	3	2	1		4 3 2 1
11 母親にまかせっきりにしない		5	4	3	2	1		4 3 2 1
12 育児意欲がもてるよう援助する		5	4	3	2	1		4 3 2 1
13 育児に不慣れな母親の気持ちを和らげるようにする		5	4	3	2	1		4 3 2 1
14 マタニティーブルーにならないよう言葉かけに気をつける		5	4	3	2	1		4 3 2 1
15 コミュニケーションをとるよう心がける		5	4	3	2	1		4 3 2 1
16 産婦の言葉に耳を傾ける		5	4	3	2	1		4 3 2 1
17 産婦の不安や質問に対応する		5	4	3	2	1		4 3 2 1
18 訴えをよく聞く		5	4	3	2	1		4 3 2 1
19 タイムリーな対応をする		5	4	3	2	1		4 3 2 1
20 初産婦には、指導を繰り返す		5	4	3	2	1		4 3 2 1
21 訪室のタイミング、指導の時間を考慮する		5	4	3	2	1		4 3 2 1
22 手順良く処置する		5	4	3	2	1		4 3 2 1
23 慎重に処置する		5	4	3	2	1		4 3 2 1
24 処置技術を確実に行う		5	4	3	2	1		4 3 2 1
25 検査・処置・薬の説明を行う		5	4	3	2	1		4 3 2 1
26 優しく扱う		5	4	3	2	1		4 3 2 1
27 丁寧に扱う		5	4	3	2	1		4 3 2 1
28 退院後も含めいつでも気軽に助産婦に相談ができるような環境をつくる		5	4	3	2	1		4 3 2 1
29 経過が正常であるかどうかのアセスメントを行う		5	4	3	2	1		4 3 2 1
30 必要最低限の医療介入とする		5	4	3	2	1		4 3 2 1
31 新生児の身体的特徴を理解した上で扱う		5	4	3	2	1		4 3 2 1
32 抱っこを多くする		5	4	3	2	1		4 3 2 1